

ジェイアールバス東北本部

第25号

2021年11月19日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申4号「2021年度冬季ダイヤに関する申し入れ」について団体交渉を行う! ③

7. 各現場において拘束時間が13時間を超えるダイヤについては、健康維持と休息時間確保の観点から13時間以内となるように改善すること。

(組合) 七北田・白沢事業所では、ダイヤ減により拘束時間が13時間を超えるダイヤが増えている。健康維持と休息時間確保のため早急に13時間となるよう改善すること。

(会社) 七北田・白沢については、要員の関係で組み替えをしたものである。あくまで行路を回すものであり、恒久的なものではないので要員が満たせば元に戻す。その他の箇所についても、すぐには難しいが原則13時間以内というのは認識している。今後も可能な限り近づけていく努力はしていく。

8. 現在、減便や運行を休止している各高速路線についての運行再開の考えを明らかにすること。

(組合) 減便や運休している路線について、新型コロナウイルス感染症の第6波も懸念されているなかで、今後の運行再開の考えを明らかにすること。

(会社) 需要を予測し、他バス会社の動向を考慮して運休や運行再開の判断をしていく。

9. 福島支店5ABC行路の車両運用について、経費削減や効率化の観点からA行路からC行路までを車両交換せずに1台の車両で運用する案を検討すること。

(組合) 現在、仙台支店で保有している車両の車検整備を仙台支店整備工場で作業しきれないことから福島支店と盛岡支店に回送し車検を行っているが、経費もかかっている。米沢便を福島支店が担当運行すれば運用車両も福島支店へ配置となるため負担軽減と経費削減に繋がるのではないかと。

(会社) 良い案ではあるが、それでは車両の効率化に繋がるものの予備車の配置が増えてくる。各箇所の予備車を少なくすることで会社全体の車両数を削減出来ることから現在の運用とした。また、1日で使用する金庫数が増となり当直業務の作業が増える。経費削減のため現行通りの車両運用とする。

10. 今後のダイヤ等施策について明らかにすること

(組合) 多くの職場からダイヤ改正時に現場にも情報が欲しいとの声が上がっている。現場乗務員の意見も取り入れながらダイヤ作成すること。

(会社) 了解した。基本的には現場の声を尊重したいが、経営も考えなければならない。本社が施策を出し、その後に担当箇所と行路等について相談する流れとなっていく。その際は早めに職場に周知し、相談しながら効率的な運用を図っていく。

各分会で議論し、今後も問題解決に向け声を上げていこう!